

☆登山とハイキングの
普及と向上に全力をあげよう
☆力をあわせ何としても
300名会員を回復しよう

ろうさんKAGAWA
県連盟だより

No.60-1 2026. 03. 05
香川県勤労者山岳連盟
rousankagawa@ma.pikara.ne.jp
高松市十川西町199-4
電話:087-887-5567

三平山雪山トレーニング



丸亀しわく山の会

◇日時 2026年2月11日(水)

◇参加 CL:T田 +7名

◇費用 ¥5,400/人

《行程》

坂出IC=三平山登山口(駐車場)…三平山頂上
7:00 9:30 12:30

……三平山登山口=坂出IC
14:30 16:50

《内容》

今回は、雪山トレーニングとして岡山県と鳥取県の県境に位置する「三平山(みひらやま)」へ行ってきました。

出発前日は雨。岡山県内でも「雨のち雪」というあいにくの予報でしたが、私たちは期待を胸に朝7時に集合しました。現地へ近づくと、車窓からの景色は次第に白く染まり、積雪量もアップ。まさに雪山トレーニングに絶好のコンディションが私たちを迎えてくれました。

道中の蒜山SAでは、リーダーのT田さんからビーコンの装着方法や操作について丁寧な指導を受けました。登山口に到着後、いよいよアイゼン



とフカンを着用して登山開始です。

膝下まである40~50cmの積雪の中、一列になって先頭を交代しながら進む「ラッセル」を経験しました。真っさらな雪面に自らの足跡を刻んでいくのは、雪山ならではの醍醐味です。初めて先頭に立ってみて足跡を刻む難しさで大変さを実感しました。一步一步踏みしめて進む感覚は、夏山では決して味わえない達成感に満ちています。

山頂付近では天候が急変し猛吹雪によるホワイトアウトに近い状態となりました。しかし、これこそがトレーニングの本番です。皆で地図とコンパスを手に現在地を確認し、慎重に歩を進めました。視界が遮られる中、ようやく山頂の看板が目に見え、飛び込んできた時の「やったー!」という歓喜の瞬間は、チーム全員の心が一つになった忘れられない思い出です。

下山後は、雪崩に遭遇した際を想定した救出訓練を実施しました。ビーコン、ゾンデ、スコップの役割に分かれ、CL:T田さん・SL:Y田さんの指導のもと、より実践的な動きを学びました。

「難しそう」と思われがちですが、実際に使ってみると操作は明快で、その重要性を肌で感じる事ができました。

私(記録係)は2025年に入会し、まもなく1年が経とうとしています。今回の山行で強く感じたのは、雪山が持つ「厳しさ」と、それを補って余りある「美しさ」と「達成感」です。

